

平成27年度(第88回)全国安全週間について

全国安全週間は、昭和3年から「人命尊重」を基本理念として「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること。」を目的に続けられ、今年で88回目を迎えます。

この間、労働災害防止のため、事業場では労使が協調し、労働災害防止対策が展開され、労働災害は長期的には減少していますが昨年は一昨年を上回る結果となりました。増加の背景には、消費税増税前の駆け込み需要、大雪による影響のほか、産業活動が活発化する中で人手不足が顕在化し、職場に潜む危険要因を察知するだけの経験がない未熟練労働者の増加や企業の安全衛生管理体制のほころびが想定され、また、重篤な災害の発生が少ない第三次産業では、安全に対する意識が十分とは言えない状況も考えられます。

こうした状況を踏まえて、平成27年度の全国安全週間のスローガンは、安心して働ける職場づくりを目指すに当たり、職場をあげて危険箇所を発見し、速やかに対策を講じることを通じて事業場の安全意識を醸成するという観点から

「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」

となっています。全国安全週間を契機にそれぞれの職場で、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動を着実に実行しましょう。

実施期間

平成27年7月1日から7月7日まで（平成27年6月1日から6月30日までは準備期間）

全国安全週間及び準備期間中に実施する事項

① 共通事項

- ・安全大会等での経営トップによる安全への所信表明を通じた関係者の意志の統一及び安全意識の高揚
- ・安全パトロールによる職場の総点検の実施

② 特別重要事項

- ・転倒災害防止対策の取組(定着)状況の確認
- ・足場に係る改正労働安全衛生規則への対応状況の確認

③ その他

- ・安全旗の掲揚、標語の掲示、講演会等の開催、安全関係資料の配布等のほかホームページ等を通じた自社の安全活動等の社会への発信
- ・労働者の家族への職場の安全に関する文書の送付、職場見学会等の実施による家族の協力の呼びかけ
- ・緊急時の措置に係る必要な訓練の実施
- ・「安全の日」の設定のほか全国安全週間及び準備期間にふさわしい行事の実施

このほか、全国安全週間に関することは、中央労働災害防止協会のホームページ等をご参照ください。

(中央労働災害防止協会 <http://www.jisha.or.jp/campaign/anzen/index.html>)

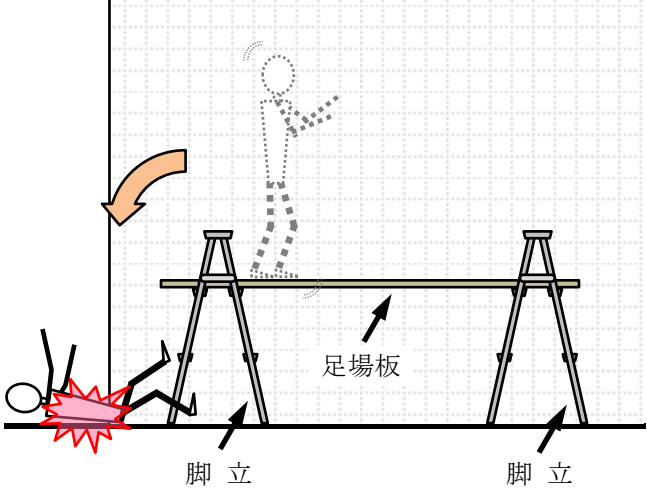
主要な業種別労働災害発生状況(平成26年と平成27年の比較 4月末現在速報値)

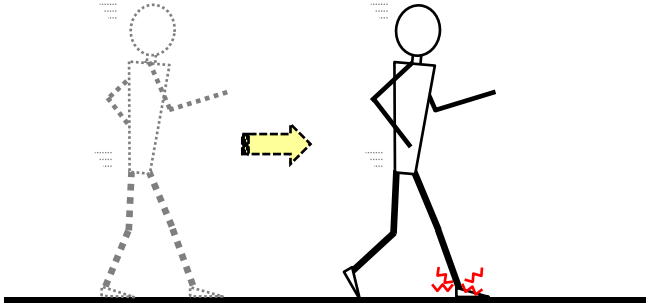
業種別	平成27年 (1月～4月)	平成26年 (1月～4月)	増減数	増減率	構成率
全産業	84	96 (1)	-12 (-1)	-12.5%	100.0%
製造業	35	37	-2	-5.4%	41.7%
食料品	9	7	2	28.6%	10.7%
窯業土石	10	15	-5	-33.3%	11.9%
機械金属等	10	8	2	25.0%	11.9%
建設業	8	8	0	0.0%	9.5%
土木工事	1	1	0	0.0%	1.2%
建築工事	4	6	-2	-33.3%	4.8%
運送業	5	13 (1)	-8 (-1)	-61.5%	6.0%
陸上貨物	5	12 (1)	-7 (-1)	-58.3%	6.0%
農林・畜産・水産業					
商業等	35	38	-3	-7.9%	41.7%
小売業	12	13	-1	-7.7%	14.3%
社会福祉	3	9	-6	-66.7%	3.6%
接客娯楽業	8	10	-2	-20.0%	9.5%
ゴルフ場	7	9	-2	-22.2%	8.3%

※ この統計は、労働者死傷病報告により報告があった休業4日以上死傷災害を集計したものです。

※ カッコ書きの数値は、死亡者の内数です。

災害事例

災害発生概要		脚立足場から墜落する									
業種	建設業	職種	作業員	年齢	60代	性別	男	災害程度	休業見込み 3カ月	経験	15年
発生状況	脚立に足場板を架け渡した足場の上で住宅の外装工事中に足場を滑らせて、後ろ向きに墜落した。										
	事故の型		墜落・転落			起因物		はしご等			
発生原因	・手すりの設置、安全帯の使用等の墜落防止措置を講じていなかったこと。										
											
再発防止策	・安全に作業が行えるように足元の安全が確保できる足場等を設ける。										
	・墜落による危険のおそれある場所で、手すり等が設置できない場合は、安全帯が使用できる設備を設け安全帯を使用させる。										

災害発生概要		事業場内を歩行にて移動中に足を捻る									
業種	小売業	職種	販売員	年齢	50代	性別	女	災害程度	休業見込み 1カ月	経験	20年
発生状況	他の売り場のレジが混雑していたため、応援に行こうと自分が担当等の売り場から早足で向かう途中、足がもつれ足首を捻る。										
	事故の型		動作の反動・無理な動作			起因物		作業床・歩み板			
発生原因	・応援に向かう時に早足で歩行し、足がもつれたこと。										
											
再発防止策	・他の売り場へ応援に行くためであっても慌てずゆっくりと歩行し、移動させる。										
	・事業場内の床面を点検し、段差、くぼみ等の足を捻る要因となるものの有無を確認して、改善を行う。 ・朝礼、打ち合わせ等において、今回の労働災害を契機とした安全教育を行い、同種災害防止対策を徹底する。										